

令和4年度 遠野市の まちづくり、 お金の使い道 紹介します！

もっと知りたい！
遠野の予算
The description Tono city budget.

▶ 多田市長の施政方針演述の要旨や令和4年度遠野市予算の概要などを掲載しています

新年度予算は171億1,000万円!!
市民一人あたりの年間経費は
671,481円です。

新年度に向け、
多田市長が話したことを
ギュッとまとめたよ(2~5ページ)

目次

- P2_市長施政方針演述
- P5_財政健全化の取り組み
- P6_予算概要
- P10_大綱別「主な事業紹介」



イノベーションと チャレンジに向けた準備の年

令和4年3月市議会定例会で多田一彦市長が表明した、「遠野市長施政方針演述」の要旨をお伝えします。

遠野スタイルによるまちづくりを 新たな視点で見直しながら

はじめに

市長に就任して4カ月余り、皆さまのご支援をいただきながら責務を果たしてきました。これまでの市政運営を検証し、遠野スタイルによるまちづくりを、新たな視点で見直しながら取り組んでいきます。

昨年開催した「みんなの井戸端会議(1)」で、市民の皆さまと意見交換をしました。地域を支える皆さまの思いを直接伺うこと



ができたことは、今後の市政運営の活動の源となるものでした。私は、対話を通じて市政課題を明らかにするとともに、市民の皆さまがどのような希望を抱き、どのような将来を思い描いているのかを市政に反映させていきたいと考えています。

令和4年度の市政運営にあたっての方針を述べます。

1点目が「市政を推進する体制づくり」です。市役所内は組織の役割の明確化を図り、柔軟な対応ができるよう組織を再編します。また、行政区と消防団の再編が地域コミュニティの強化につながり、地域の防災力と課題解決力が高まっていくよう、地域に伴走しながら支援する仕組みを構築していきます。

2点目は「財政の健全化に向けた取り組み」です。本市は昭和40～50年代にかけて多くの公共施設を整備しました。それらの更新時期を迎え、維持・修繕に莫大な費用が必要です。このままでは健全財政の維持が難しくなってまいります。現在、市公共施設等総合管理計画の中間見直しを進めています。施設の取り壊しや民間への譲渡など、地域活動や市内経済の活性化につながっていくよう検討を進めます。

【施政方針とは】

新年度の市政運営に対する考え方や主要事業の方向性について示すもの

写真_3月市議会定例会で演述する多田市長

令和4年度予算の特徴

「遠野の未来開拓予算」と位置付け、総額171億1,000万円で編成しました。自立的で持続可能な財政運営の下、市総合計画後期基本計画を確実に実行し、市民との対話を大切にしながら、遠野の未来に向け、準備をする予算としています。公約に掲げた「市民の命と暮らしを守る」の実現に向け、これまでの取り組みを大切に、新たな試みへの切り替え予算でもあります。

【予算と主要施策の概要は6ページ以降で紹介します】

市総合計画5つの大綱ごとの方針

■大綱1「自然を愛し共生するまちづくり」

私たちが、守り、受け継いできた自然景観や、恵みを育てる農村景観、宿場町・城下町の雰囲気を残す町並みの景観は、市民共通の財産であることから、良好な保全・形成を図ります。

二酸化炭素の排出抑制に向け、新たな再生可能エネルギーの導入や省エネルギー活動を推進します。

ごみ処理は、令和8年度から近隣市町との不燃ごみ処理の広域化を目指しています。ごみ削減に取り組むため、分別収集や事業系もえないごみの有料化の検討を進めます。

国道や県道などは、内陸部と沿岸部を結ぶ地理的優位性を向上させ、快適で安全な環境整備が図られるよう、関係機関への要望を継続します。

公営住宅は、子育て世帯や高齢者などの住宅需要に配慮し、快適な住環境の整備を進めます。

空き家は、意識啓発により利活用を推進し、危険空き家への対応を積極的に進めます。

安全・安心な水を安定供給できるよう、水道施設の計画的な整備・改修を進めます。

総合交通対策は地域の特性を踏まえながら、より利用しやすい交通システムを構築し、「小さな交通網」の実現を目指します。

消防団員の処遇改善と負担軽減を図るとともに、関係組織などの連携強化と組織的な防災体制を構築し、地域防災力の強化に努めます。

民間事業者による開発などに対する市の独自基準を設け、市民が安心して暮らせる環境づくりを進めます。

「超スマート社会」に対応できる体制整備を図るため、令和5年度から、遠野テレビの運営の指定管理者制度移行を目指します。また、光ファイバー化に合わせた新たなサービスの提供に向けた取り組みを進めます。

■大綱2「健やかに人が輝くまちづくり」

市健康増進計画の基本目標「健康寿命の延伸」を目指し、地域の健康づくりサポーターや、関係団体、事業所などと連携し、健康づくりを推進します。

安全・安心な周産期医療の充実に向け、引き続き医師の招へいに取り組みます。また、母子の体と心の健康を守るため、出産のための待機宿泊と通院に要する費用の助成や、産前産後サポートおよび産後ケア(2)の充実に取り組みます。



地域福祉活動充実のため、社会福祉協議会と連携を図りながら、保健・医療・福祉・介護が一体となった取り組みを推進します。また、丸ごと相談員の配置の充実とともに、新たに包括化推進員を配置し、地域生活課題の解決に向けた体制の強化・充実を図ります。

遠野ハートフルプラン2024の策定に向け、現計画を検証し、介護に対するニーズや介護人材の充足状況など、実態を調査・分析します。併せて、介護人材の育成・確保に向けた新たな取り組みの検討を進めます。

障がい者が地域で安心して生活できるよう、行政、団体、地域住民が連携・協働しながら事業・支援の充実に努めます。また、障がい者の重度化・高齢化や親亡き後を見据え、関係団体と連携した施設機能の充実を図り、障がい者にやさしいまちづくりを推進します。

■大綱3「活力を創意で築くまちづくり」

農業は、グローバル化の進展、国の農業政策の動きに対応しながら、市農林水産振興ビジョンに基づく取り組みを着実に進めていきます。

農地の有効活用に向け、農地集積を推進し、農地の貸し手と担い手のマッチングを図るなど、耕作放棄地や遊休農地の未然防止・解消などを推進します。

農業に触れる機会の創出および農業経営のみえる化を図る「農業起業塾」を開設し、実践的な農業体験を通じて就農や耕作への意欲を喚起し、農業人口の拡大を図ります。

農家の所得拡大に向け、重点推進品目(3)を中心に生産支援を継続し、新規生産や生産拡大に取り組む農家への支援も継続します。



重点推進品目のひとつ
二苺収穫の様子

六次産業化を推進するため、関係機関と連携し、特色ある農林水産物を活用した商品開発や販路開拓を支援します。特にホップ生産は、生産体制の強化を図るとともに、収穫



す。加えて、安全・安心で栄養バランスの取れた給食を提供し、健全な心と体、生きる力を育みます。

市内全小中学校で導入する学校運営協議会制度、いわゆる「コミュニティスクール」を活用し、地域が一体となって子どもたちの健やかな成長を育てていきます。

市民芸術祭や遠野物語ファンタジーなど、市民主体の活動を積極的に支援し、芸術に触れる機会や芸術活動を披露する機会の充実を図り、心豊かな市民生活の創出に努めます。

図書館は、利用者ニーズに応じたサービスの充実に取り組み、生涯学習の振興と読書活動の推進に努めます。博物館では、特別展・企画展などを開催し、市内外に向けた情報発信に努めます。

遠野遺産認定制度は、認定済の遺産の磨き上げと活用を進め、地域の魅力向上につなげます。

市内の郷土芸能(4)は、種類の豊富さや文化的価値が高いことに加え、地域の絆を深める重要な地域資源です。伝承活動が持続できるよう支援していきます。

「こども本の森 遠野」は、市民が自ら本の森を育てる持続可能な仕組みを構築し、市と市民が連携した運営に努めます。

■大綱5「みんなで考え支え合うまちづくり」

人口減少と少子高齢化におけるさまざまな地域課題に対応するため、小さな拠点による地域づくりを推進し、新たな市政運営スタイルを構築します。また、新行政区の自治会活動を支援し、地域活性化を図ります。

各地区センターは、指定管理者制度など1年目の取り組みを検証し、市民協働による市政運営を目指した地域づくり活動への支援策を検討します。

第三セクターの経営改革は、課題を検証して改善につなげ、経営の自立を最大の目標にしながら進めます。

新型コロナの感染拡大に伴う市内の経済状況などを踏まえ、国民健康保険税は、令和4年度からの税率引上げを見送ります。また、子育て世帯の負担軽減を図るため、未就学児世帯の均等割額を減額します。

適切な市職員数を確保しながら、効率的な行政事務運営を図ります。また、ワーク・ライフ・バランスの実現、職員の能力を引き出す環境づくりを進めます。



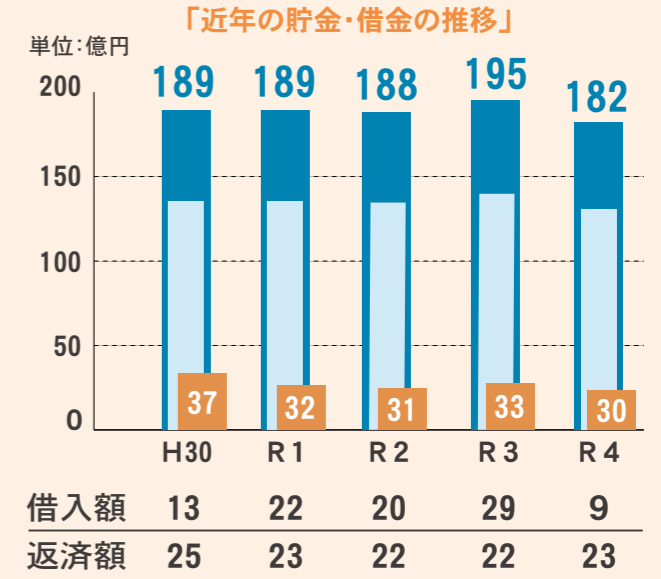
健全財政を維持するための本市の取り組み紹介

財政健全化のために

令和4年度の予算編成にあたっては、各種団体への負担金・補助金を見直し、前年度比1,769万円の減額となりました。ふるさと納税では、▷充当事業の明確化▷PRの充実—により4,140万円の増額効果を見込んでいます。

事業を進めるには予算が必要です。重要文化財千葉家住宅の整備など多額の予算が必要な大型事業には、返済時に国の支援が受けられる市債(借金)を活用しています。これにより、市の負担は借金残高の約3割となり、将来の負担を軽減できます。健全な財政運営のため、今後も最適な借入れ方法を選択します。

令和3年度の市債残高は、ケーブルテレビFTTH化整備事業の実施により増えていますが、財政健全化計画に基づき、毎年の借入額が返済額を上回らないようにし、借金残高を少しずつ減らしていくよう努めています。



借金の約7割は国が支援
本市の借金(市債)の約7割は返済時に国の支援が受けられます。

※上図の貯金額は、「積立基金」と「定額運用基金」の合計

令和4年度はイノベーションとチャレンジに向けた準備の年 市民の皆さまと手を携えてまちづくりを



遠野市が元気で、地域が元気で、遠野市民が元気で、そして幸せであるために、必要なことを着実に進めます。「小さな拠点による地域づくり」の取り組みも、井戸端会議の際、確実に一步を踏み出していると感じました。その主体性を官民の協力でさらに後押しするため、「市民活動サポートセンター」の設置についても検討を始めます。

市政課題は多岐にわたり、全てを解決することは難しい状況にありますが、ひとつずつ解決を図りたいと考えています。したがって、時には厳しい話、耳の痛い話もしなければいけません。しかし、次世代の子どもたちのため、遠野市の未来のために必要なことです。

令和4年度は、これから始まるさまざまなイノベーションとチャレンジに向けた準備の年であり、市民の皆さまとの意見交換を継続的に行いながら、手を携えてまちづくりを進めていきます。

私の座右の銘「人生意気に感ず」とは、「人は、相手の志や思いの深さに感じて仕事をする」という意味で

す。みんなの井戸端会議を通して、市民の皆さまのまちづくりに対する熱い思いと、遠野を誇りに思う気持ちを聞くことができました。市長として、皆さまの思いに応えられるよう、強い気概で市政運営に臨みます。

最後に一言、お願いを申し上げます。新型コロナの感染拡大により世界中の人々が不安な思いを抱き、本市も例外ではありません。

しかしながら、私たちはこの状況に押しつぶされてはいけません。この美しい遠野市には、心優しい人々が暮らしています。感染した人などを誹謗中傷したり、責めたり、仲間外れにしたりすることは、絶対にしてはいけません。市民が丸となって助け合い、いたわりあって乗り切らなければならないのです。

市はできる限りの正確な情報を公開していきます。それは、互いに助け合うため、蔓延を防止しやすくするためです。市民の幸せのための、私の心からのお願いです。

→量で再び日本一を目指します。

畜産振興は、中心的経営体を支援しながら、生産の維持拡大を図ります。また、遠野産馬の生産と育成を奨励し、馬を活用したふれあいの場を創出して地域活性化に努めます。

有害鳥獣対策は、ニホンジカによる被害を低減させるため、地域ぐるみの防除と駆除の取り組みを強化するとともに、広域的な取り組みを推進します。

土砂災害防止や水源かん養、生物多様性の保全など、森林が持つ多面的な機能の活用を進めるため、遠野地方森林組合と連携しながら適正な森林の管理を推進します。木材・住宅産業の振興は、市内で一貫した木材利用を目指し、地元業者が遠野産材を使って建てる「遠野の家」のブランド化を図ります。

ものづくり産業の振興は、就労環境の改善を促進するための支援策を講じ、地元定着を促進します。また、市内既存事業所の半導体関連への業態転換を支援するなど、誘致企業と地元企業が共存し、経済発展につながるよう支援策を講じます。

観光振興は、観光協会を核とした観光推進体制の強化と、地域経済が潤う仕組みづくりに向け、市内施設・関係団体の連携を進めます。また、自然や文化、歴史、郷土芸能などのポテンシャルを生かし、新たな観光コンテンツの開発と、情報発信に取り組みます。

交流から定住へ、遠野ファン拡大や移住定住施策を進化させるため、「で・くらす遠野」の見直しに着手するとともに、若者世代空き家取得奨励金を創設し、移住定住の促進と空き家利活用に取り組みます。

広い視野を持ち、次世代の地域社会をリードし、グローバルに活躍できる人材育成を図るため、多様な人材を招へいし、さまざまな学びの機会が得られるよう関係機関と連携した取り組みの充実に努めます。

■大綱4「ふるさとの文化を育むまちづくり」

「ふるさとの文化を生かし、『夢』と『誇り』を育む学びのまちづくり」の基本理念のもと、「人間力」あふれる人材育成に向けた教育施策に取り組みます。

本市の未来を担う人材を育成するため、市内高校2校のさらなる魅力向上に取り組んでいきます。また、市内小中学校の児童生徒が安全・安心な教育環境のもとで学習できるよう、適切な施設の維持管理に努めま

令和4年度当初予算

遠野の未来開拓予算

令和4年度の予算を「遠野の未来開拓予算」とし、総額171億1,000万円(前年度比1.4%減)で編成しました。「第2次遠野市総合計画後期基本計画」を確実に実行し、市民との対話を大切にしながら、▷新型コロナウイルス感染症対策▷産業振興・雇用確保▷少子化対策・

子育て支援▷支え合う小さな拠点づくりの推進——などの重要施策に取り組みます。また、後期基本計画を着実に推進するため、第四次遠野市健全財政5カ年計画に基づいた自立的で持続可能な財政運営を進めます。

令和4年度一般会計予算総額

171億1,000万円 前年度比 **2億4千万円(1.4%)減**

令和3年度 **351事業** ▶▶▶ 令和4年度 **356事業**(うち、新規18事業)

特別会計予算総額

74億6,919万円(前年度比0.5%増)

特別会計	予算額
国民健康保険【保険事業分】	29億6,657万円
国民健康保険【直営診療施設分】	8,793万円
後期高齢者医療	3億6,678万円
介護保険【保険事業分】	35億7,290万円
介護保険【介護サービス事業分】	1,180万円
ケーブルテレビ事業	4億6,321万円

公営企業会計予算 ()は前年度比

水道事業会計 遠野市の水道に関する予算

収益的収入▶ 8億 432万円(2.0%増)
支出▶ 7億5,753万円(4.4%増)
資本的収入▶ 6億2,025万円(21.1%減)
支出▶ 10億1,048万円(18.0%減)

下水道事業会計 遠野市の下水道に関する予算

収益的収入▶ 7億 184万円(3.1%減)
支出▶ 7億 284万円(3.1%減)
資本的収入▶ 3億1,886万円(6.9%減)
支出▶ 5億2,522万円(2.5%減)

特別会計予算とは？

特定の目的のための予算で、一般会計とは別に会計しています。本市には、国民健康保険(保険事業分)やケーブルテレビ事業など6つあります。

公営企業会計予算とは？

民間企業と同じように事業収益を上げながら運営している予算です。本市には、水道事業会計と下水道事業会計があります。

令和4年度

主な施策の概要

01 新型コロナウイルス感染症対策

(6事業9施策、1億1,175万円)

新型コロナの影響で、市民生活もさまざまな制約を余儀なくされています。新型コロナウイルスワクチンの安全・安心な接種体制確保など感染症予防対策の継続的な取り組みに加え、地域経済の低迷からの回復・成長につながる事業を実施します。

【主な事業】

- ★地域雇用対策事業費補助金
- ★【新】遠野産米生産性向上事業費補助金



- ★商い元気回復事業費補助金
- ★新型コロナウイルス感染症対策観光振興補助金
- ★子育て施設訪問支援

02 産業振興・雇用確保

(34事業、10億8,034万円)

▷地域産業の振興▷社会が求める人材育成▷新たな事業展開への支援——を図るなど、産業振興と雇用確保を推進し、市民所得の向上に取り組みます。観光推進体制の再構築を図り、遠野ならではの魅力的な観光メニューの開発や情報発信に取り組みます。

【主な事業】

- ★若者しごとサポート事業費
- ★オール遠野で観光まちづくり推進事業費



- ★【新】多様な人材活用推進事業費
- ★【新】市内企業人材確保推進事業費

03 少子化対策子育て支援

(11事業、1億5,640万円)

子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、中学生以下までだった医療費給付の対象を高校生の年代まで拡大します。また、▷助産師による宿泊施設を活用した産後ケア事業の拡充▷ハイリスク妊産婦を対象にした出産医療機関へのアクセス支援——など、安心して子育てができる環境づくりを進めます。

【主な事業】

- ★【新】子ども医療費給付事業費
- ★児童館施設整備事業費



- ★遠野北小学校エリア子どもの居場所づくり推進事業費
- ★【新】妊産婦あんしんサポート事業費

04 支え合う小さな拠点づくりの推進など

持続可能で活力ある小さな拠点を中心とした地域づくりを推進するため▷鱒沢地区センターの整備▷小友・達首部両地区センターの改修——に着手します。また、▷学校と地域の連携・協働による「コミュニティ・スクール」の推進▷GIGAスクール構想推進に向けた小中学校へのドリルソフト導入——などにより学力向上を図り、生きる力を育みます。

【主な事業】

- ★【新】学校と地域の連携・協働推進事業費
- ★教材整備費



- ★小さな拠点改修整備事業費
- ★鱒沢地区小さな拠点エリア整備事業費

収入

市税や、国と県からの交付金、銀行などから借りるお金など、市に入るお金

予算総額 **171億 1,000万円**

市が各種施策、教育・福祉・医療のほか、道路整備や災害対応などに使うお金

支出

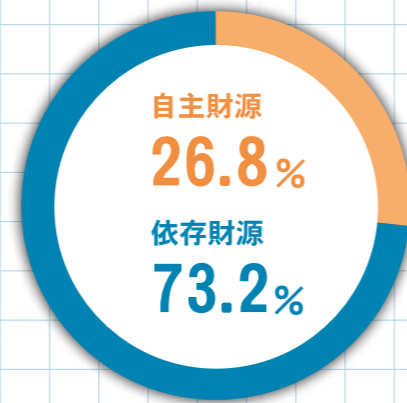
国や県からの依存財源に頼る財政状況

「自主財源」のうち市税は、特に法人市民税の増額により、前年度比1億5,160万円の増を見込んでいます。

「依存財源」は、国の動向や前年度の実績見込額などを考慮し、地方交付税が73億7,797万円(前年度比1億9,351万円増)。国からの支出金は前年度同様、新型コロナウイルス感染症対策事業などを計上し、20億3,108

万円(前年度比60万円減)。また、市債は臨時財政対策債の減により、前年度比6億4,290万円の減を見込みました。

市が独自に確保できる自主財源は全体の26.8%で、前年度比1.7ポイント増加しているものの、依然として国や県からの依存財源に頼る財政状況が続いています。



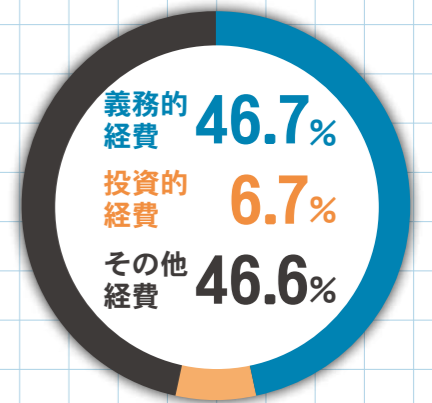
義務的経費が増加、投資的経費は減少

「義務的経費」は、人件費を除き増額。扶助費が障害福祉サービスや障害児通所施設の利用件数の増などを見込み、前年度比2,824万円増となりました。公債費は、ケーブルテレビFTTH化整備などの大型事業で市債残高が増え、前年度比2,586万円増となっています。

「投資的経費」は、市民が利用する

道路や建物などの整備に使うお金のことです。令和元年度から3カ年で実施した同報系デジタル防災行政無線整備事業が完了したことから、普通建設事業費は前年度比1億6,517万円の減となりました。

「その他経費」は、行政事務を見直すなど、物件費で前年度比8,628万円の減となりました。



①市税

27億566万円 市に収められた税金

②繰入金・諸収入等

18億7,831万円 施設の使用料や基金(貯金)の取り崩しなど

③地方譲与税・地方消費税交付金・地方交付税等

84億4,244万円 皆さんが国に納めているお金の一部

④国や県からの支出金

32億1,449万円 使い道が決められている国や県からのお金

⑤市債

8億6,910万円 銀行などから借りるお金

市が自ら得ることのできる収入を自主財源(①②)といいます。

自主財源

国や県の基準に基づいて交付されたり、割り当てられたりする収入を依存財源(③④⑤)といいます。

依存財源

①人件費

29億6,624万円 市職員の給料や議員報酬など

②扶助費

27億7,537万円 生活保護、障がい者の支援、福祉や医療

③公債費

22億5,611万円 市の借金返済

④普通建設事業費

11億561万円 道路の整備、公共施設の新築など

⑤災害復旧事業費

4,000万円 自然災害などの復旧

⑥物件費

36億5,649万円 電気・水道や事務用品など

⑦補助費等

19億600万円 各種団体への補助金や負担金など

⑧繰出金

12億8,059万円 特別会計予算など

⑨積立金など

11億2,359万円 基金(貯金)への積立など

義務的経費

投資的経費

その他経費

市民一人あたりの年間経費

総額 **671,481円** ※()は前年度との差額。本年1月31日現在の人口(25,481人)で算出しています。

【金額順】 costs



民生費
高齢者や子どもの福祉などに
185,006円 (+7,136円)



総務費
市役所の管理・運営などに
100,274円 (+2,153円)



公債費
借ったお金の返済に
88,541円 (+2,699円)



教育費
学校や社会教育などに
72,318円 (-585円)



衛生費
病気の予防やごみ処理などに
56,850円 (-1,623円)



農林水産業費
農業、林業、畜産業などの活性化に
52,878円 (+1,074円)



土木費
道路や公園などの整備に
44,538円 (-1,885円)



商工費
商業、工業の振興に
36,191円 (+2,928円)



消防費
消防・防災、救助活動に
24,368円 (-7,258円)



議会費
議会の運営に
6,048円 (+171円)



労働費ほか
雇用の拡大・定着などに
2,899円 (-1,155円)



災害復旧費
災害の復旧などに
1,570円 (+30円)

令和4年度予算の使い道

大綱1~3

大綱別「主な事業」

令和4年度の新規事業や主な事業を、市総合計画の5つの大綱ごとに紹介します。

大綱1 自然を愛し共生するまちづくり

●水道ビジョン推進事業費 【2億191万円】

老朽化した水道管路の耐震化を推進します。



●未来へ繋がるごみ減量事業費 【295万円】
資源ごみのリサイクルとごみ減量化を推進します。

●浄化槽設置整備事業費 【3,291万円】
浄化槽の設置に補助金を交付します。

●新エネルギービジョン推進事業費 【164万円】



薪ストーブ導入費用を助成し、市内の木材利用を促進します。

●スマートエコライフ推進事業費 【50万円】
一般家庭の太陽光発電や蓄電池設備などの導入に対し助成します。

●消防車両更新事業費 【9,715万円】



計画的に消防資機材を更新・整備します。

●安心安全な道づくり事業費 【1億3,651万円】
生活に身近な道づくり事業計画に基づき、地域の道路環境を整備します。

●橋りょう長寿命化整備事業費 【5,705万円】
長寿命化計画に基づき、橋りょうの修繕・工事を行います。

大綱2 健やかに人が輝くまちづくり

●【新】子ども医療費給付事業費 【1,404万円】
子育て家庭の経済的負担を軽減するため、給付対象を「中学生以下」から「高校生世代まで」に拡大し、医療費を給付します。

●地域介護予防活動支援事業費 【1,149万円】



住民主体の「通いの場」における介護予防活動の地域展開を支援します。

●わらすっこの療育支援事業費 【4,513万円】
心身に発達の遅れがある児童の療育を支援します。

●地域福祉連携推進事業費 【2,625万円】
地域生活課題の解決体制を強化・充実するため、「丸ごと相談員」に加え、新たに「包括化推進員」を配置します。

●生活習慣病予防プログラム推進事業費 【7,324万円】
各種がん検診の実施や人間ドック補助金などにより、健康増進に取り組みます。

大綱3 活力を創意で築くまちづくり

●新型コロナウイルス感染症 経済対策事業費 【1億460万円】
▷新規雇用創出事業費の補助▷【新】遠野産米生産性向上事業費の補助▷高い元気回復事業費の補助▷事業転換支援事業費の補助▷事業資金緊急対策事業の補助▷感染症対策観光振興補助金——などを実施します。

●【新】六次産業品目生産支援事業費 【317万円】



ホップ生産体制の強化を図り、収穫量日本一を目指します。

●【新】多様な人材活用推進事業費 【7,493万円】
地域おこし協力隊制度を活用し、農業分野の担い手確保や地域の課題解決に取り組みます。

●美味しいお米づくり推進事業費 【1,807万円】
遠野産米の生産拡大を支援します。

●森林(もり)づくり支援事業費 【3,040万円】



「伐ったら植える」の考えで、伐採後の再造林や下刈り支援、間伐材の運搬費支援などを行い、市内の森林整備を推進します。

●【新】市内企業人材確保推進事業費 【1,951万円】

オープンファクトリー事業を実施し、若者の地元定着を促進します。既存事業所の半導体関連への業態転換も支援します。



オープンファクトリーニエ場見学

●【新】遠野起農塾推進事業費 【50万円】
「農業起業塾」を開設し、実践的な農業体験を通じて就農や耕作への意欲を喚起し、農業人口の拡大を図る準備を進めます。

●若者しごとサポート事業費 【1,970万円】
若者の地元就職と地元定住を推進します。

●売れる農畜産物生産支援事業費 【1,340万円】

ピーマン、アスパラガス、ニラ、ホウレンソウなどを重点品目とし、生産を推進します。



●ものづくり産業振興事業費 【2億4,218万円】
中小企業への融資、利子補給を実施します。

●オール遠野で観光まちづくり推進事業費 【1,900万円】
観光推進体制の再構築を図り、遠野ならではの観光メニュー開発や、情報発信に取り組みます。

内容は、広報4月号で紹介予定

つづく →

大綱別「主な事業」

大綱4

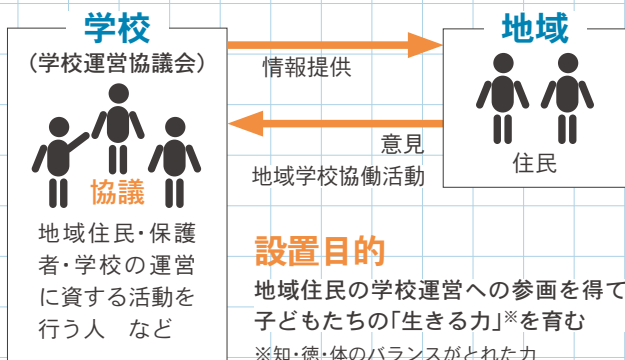
ふるさとの文化を育むまちづくり

●【新】学校と地域の連携・協働

【569万円】

推進事業費

学校運営協議会制度「コミュニティスクール」を活用し、子どもたちの健やかな成長を育みます。



●学力向上対策事業費

【2,150万円】

教育相談員の配置および標準学力検査を利用した学力向上対策を行います。

●木の温もりに触れる環境づくり事業費

【1,015万円】

木製の児童用机・椅子を製作します。(遠野北小分)



●重要文化財千葉家住宅整備事業費

【2億2,446万円】

国指定重要文化財「千葉家住宅」の恒久的保存・活用に向けた修理工事を継続します。

●こども本の森遠野運営管理費

【1,969万円】

こども本の森を、子どもたちの夢と希望を大きく育む場所として、市民と一緒に育てていきます。

●【新】小学校校舎長寿命化改修事業費

【1,505万円】

小友小学校の校舎を改修します。

大綱5

みんなで考え支え合うまちづくり

●小さな拠点による地域づくり

【2億3,066万円】

推進事業費

各町の地域づくり活動を支援します。また、300万円の補助金交付を継続し、地域の特色を生かした住民主体の地域づくりを推進します。

●小さな拠点改修整備事業費

【4,842万円】

小友、達曽部両地区センターの長寿命化改修工事を行います。

●広域連携推進事業費

【1,275万円】

近隣自治体と連携した地域課題の解決と情報発信の取り組みを進めます。

●鱒沢地区小さな拠点

【1,981万円】

エリア整備事業費

鱒沢地区センターの整備に向け、構想の具体化を進めます。



※イメージ図

●道と川の市民協働推進事業費

【806万円】

道路清掃や河川清掃活動に対し補助金を交付し、市民協働を推進します。



市役所のこと、まちづくりのことなど、
これからどんどん
分かりやすくしていきます!!

【広報遠野増刊号】令和4年度遠野市予算概要

もっと知りたい!
遠野の予算

発行 / 遠野市 〒028-0592 岩手県遠野市中央通り9番1号
☎0198-62-2111 FAX0198-62-3047 E-mail: tonocity@tonotv.com
印刷 / 遠野コロニー

